

普及活動情勢報告（令和2年9月分）

高吾農業改良普及所

集落営農法人が収穫・乾燥調整作業を開始しました



9月1日、佐川町斗賀野地区を中心に今年から本格的に活動を開始した「（農）トピアとかの」が飼料米（2品種、約5.5ha）の収穫及びJAから委託を受けた乾燥調整作業を開始しました。

農業改良普及所は生育状況調査や適期収穫について巡回により指導を行い、JAからの委託作業については関係機関で準備会により支援をしてきました。

役員からは一時期栽培を休んでいたほ場や、水管理が困難なほ場もあったが、放棄地を出さないために、今後も活動を広げる。次年は雑草や水管理の徹底を行い、収量を確保していきたいとの声が聞かれました。

農業改良普及所は、これからも集落営農組織の活動を支援していきます。

農村女性リーダーが高吾地区労働力確保研修会を開催しました



9月15日、農業改良普及所で研修会を開催し、女性リーダー7名が出席しました。

「労働力確保」は、リーダー共通の課題です。安芸地区の無料職業紹介所について、JA職員による講演後、農家に対する労務管理指導や契約方法についてなど活発に質疑応答されました。また、「JA職員の負担が大きいことはわかったが、高吾地区でも無料職業紹介所を活用したい」との意見があり、アンケート結果では、「農家の思いを伝えることが大事。どれ位の農家が雇用必要としているかなど、現状を知ることが必要だ」などの回答がありました。

農業改良普及所は、今後、リーダーが農政懇談会などで提言していくため、話し合いや研修会などの取り組みを支援します。

農作業安全講習会を実施しました



農業改良普及所は高収益作物次期作支援交付金の給付要件の一つとして、7月から6回にわたり農作業安全講習会を開催しています。JAコスモス営農経済センターの支所などで延べ133名が受講しました。講習では事故の発生の多いトラクターや草刈り機の作業、熱中症を中心に留意点を説明し、受講者からは「草刈り現場の下見をしていきたい」「早めに水分補給」「2人組での作業をしていきたい」等の声が寄せられました。9、10月は農作業安全確認運動の重点期間ともなっております。

農業改良普及所は今後とも機会を捉えて注意喚起を行っていきます。

促成高糖度トマトの開花が始まりました



農業改良普及所では促成高糖度トマトのかん水管理、肥培管理指導を行うため、8月上旬より早朝に19戸の巡回を開始しています。今年は定植が昨年よりも1週間早く、また、気温が例年と比べ高かったため、生産者の各ほ場の土壌中水分は多い状態となっています。生育ステージにあった最適な土壌水分になるよう、生育診断をしながら指導にあたっています。農家からは、「何分くらいかん水をしたらいいのか」「水の残り具合はどうか」など意見がありました。現在、促成高糖度トマトは第一花房の開花時期で、出荷は11月上旬を予定しています。

これからのかん水、肥培管理が品質を左右するため生育状況を見ながら指導を行っていきます。